

地域再生計画（地方創生汚水処理整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	海津市	地域再生計画名	「美しい自然を守り、ともに生きるまちづくり」
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	海津市 建設水道部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数			
	指標 1	人口減少の抑制 (住民基本台帳人口)	36,089人	H27	35,000人	R1	33,966人 R24.1	34,500人	R3	×	2	0	中間目標値を約1千人下回っており、総力を上げ人口減少克服に努める。
	指標 2	移住・定住の促進 (社会増加数(転入者数-転出者数))	-380人	H27	±0人	R1	-165人 H31.1.~R1.12.31	±0人	R3	×	2	0	社会増加数の減少は緩和したが、まだ均衡が取れるまでに至っていない。移住・定住を支援し減少をくい止める。

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (R1)	最終実績 見込み	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道 (管渠整備)	美濃設計(開削工費75・150・200 L・m ³ 200m、MP設備工 3基)一式	美濃設計(開削工費75・150・200 L・m ³ 1,470m、MP設備工 1基)一式	美濃設計(開削工費75・150・200 L・m ³ 200m、MP設備工 3基)一式	管渠整備(未普及地区・海津町内記)の管路工事は、R1年度まで1,470m、MP設備1基完了している。残りの1,730mとMP設備2基をR2・3で完了する予定。
	公共下水道 (共同処理施設整備)	し尿・浄化槽汚泥受入施設建設(処理能力 35kL/日)一式		し尿・浄化槽汚泥受入施設建設(処理能力 35kL/日)一式	共同処理施設整備(海津浄化センターし尿等受入施設建設工事)の土木・建築工事は、R1年度着工しR2年度完了予定。機械・電気工事は、R2年度着工しR3年10月の供用開始を目指している。
	農業集落排水	志津浄化センター(処理水槽)・野寺浄化センター(機械・電気設備)改築更新一式	志津浄化センター(処理水槽)改築更新一式	志津浄化センター(処理水槽)・野寺浄化センター(機械・電気設備)改築更新一式	志津浄化センター機能強化(処理水槽改修)工事は、H30・R1年度で施工し完了している。残り野寺浄化センター機能強化(機械・電気更新)工事をR2・3年度で施工予定。
	合併浄化槽	20基	20基	41基	合併浄化槽(浄化槽設置等事業補助金交付要綱:H31年度末見直し実施、H31年4月適用)に基づき設置者への助成を実施。R1年度までで計画量の20基を達成。R2年度下水道法・都市計画法の変更認可を受ける予定の為、合併浄化槽補助対象戸数が増加することが見込まれる。
その他の事業	該当無し				
計画外で独自に実施した事業	海津市定住奨励金交付事業	新たに住宅取得する若年層の転入者を支援			市内に新たに住宅取得する若年層の転入者に対し、住宅に課される固定資産税相当分を定住奨励金として3年間交付する。
	就業支援事業	市民の就業を支援			雇用の創出と雇用環境の整備を推進するため、無料職業紹介所を開設し、職業相談や職業紹介を行い、市民の就業を支援する。
	移住・定住・地域活性化PR事業	海津市を市外の方にPRする			移住・定住・地域活性化支援事業チラシを作成し、市外の方に配布等を行いPRする。
	河川清掃活動	河川清掃活動を通じ地域コミュニティを活性化			市民参加による「川のクリーン作戦」清掃活動を10月と2月に行い、清掃活動を通じ川に親しむ場づくりとなり、地域コミュニティを活性化させることにより、人口減少の抑制を図る。
	総合学習支援	子どもたちに環境を体感してもらう			次代を担う子どもたちに川に親しんでもらい、地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育む。
	希少種保全活動	ハリヨの保全を図り地域の魅力を高める			海津市は、国の天然記念物であるハリヨの生息地であり、ハリヨ生息地を保全することで地域の魅力を高め、地域活性化を図ることで定住・移住を促進する。

③評価方法 海津市創生総合戦略推進本部会議を実施し、実施状況等に関する評価・検討等を行った。

④中間評価の公表方法 海津市のホームページに掲載

⑤計画全体の総合評価 本地域再生計画では、地域ごとに集合処理（公共下水道）と個別処理（浄化槽）の経済比較を行い、各地域でコストのかからない整備手法で汚水処理施設を整備し、汚水処理人口普及率の向上を図るとともに、南濃衛生センター改築更新時期に合わせて、し尿及び浄化槽汚泥の受入施設を海津浄化センター敷地内に建設することにより、維持管理の効率化、費用の削減を目的としている。「美しい自然を守り、ともに生きるまちづくり」の実現を目指し。市民、市民組織、事業者、行政の積極的な連携・協力のもと、環境に関する取り組みを推進する。

⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)	R2年度変更認定を行う予定。
令和3年度予算要望額への反映 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)	浄化槽設置等事業が計画を上回る要望があるため増額要望する。	
有りの場合の増減額	2,796 千円	

⑦今後の方針等に対する対応

- 浄化槽設置等の整備事業量、事業費の見直し
 - ・整備事業量、事業費
認定時 20基→見直し後 41基[21基増] 9,510千円→見直し後 17,899千円[8,389(うち交付金 2,796千円)増]
 - ・令和3年度の事業量、事業費
1,307千円→見直し後 9,696千円 [8,389千円(うち交付金 2,796千円)増]
 - ・総事業費
認定時 1,490,563千円→見直し後 1,498,952千円 [8,389千円増(8,389千円(うち交付金 2,796千円)増)]